

はい!

やくも町議会です

第 80 号

令和6年2月

編集/議会広報広聴常任委員会



アンケートにご協力ありがとうございました。(議会カフェin二十歳の集い)

9ページに関連記事あります!

映像配信中! YouTube
「八雲町議会」で 🔍 検索



主な内容

	ページ
○一般会計補正予算	②
○二海サーモン等調査特別委員会を設置!	③
○5名の議員が町政を問う(一般質問)	④
○議会カフェを開催!	⑨
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会)	⑩
○常任委員会の活動(所管課報告)	⑪
○くまいし保育園職員の皆さん(耳をすまして)	⑭



第4回定例会

令和5年度一般会計補正予算

3億6,712万9千円追加

(補正後の総額 200億630万9千円)

第4回定例会は12月11日から12月14日までの会期で開かれました。補正予算、条例の改正など議案19件、承認1件、報告2件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正の主な内容

小中学校空調設備整備工事実施設計業務委託料

小学校分 1,575万2千円
中学校分 393万8千円

昨年夏の猛暑を受け、児童・生徒の学校教育の環境改善を図るため国の学校施設環境改善交付金を活用し、町内小学校7校・中学校3校の教室・職員室・校長室に冷房設備を整備するための実施設計。令和6年度内の事業完了を予定。



物価高騰対応プレミアム商品券発行事業補助金 6,527万円

八雲商工会が事業主体となり、地域の経済対策の一環として、1セット1,000円の商品券13枚入りを10,000円で販売。プレミアム率は30%で、2万部販売。商品券内訳は参加全店舗使用可能な全店共通券を6,000円、大型店以外の小規模店で使用可能な限定商品券を7,000円。令和6年度の事業完了を予定。

化学肥料価格高騰緊急対策事業補助金 812万5千円

農業を営む法人・個人が直面する化学肥料の価格高騰に対する負担軽減を図る。化学肥料1トン当たり3,125円、2,600トン分を新函館農業協同組合などを通じて補助するもの。

承認

(令和5年11月9日専決処分)

ALPS処理水関連緊急支援事業 3億1,689万円

アイヌ農林漁業対策事業補助金 8,256万円

全自動ホタテ耳吊り機24台分(事業総額1億2,672万円)に対する補助金。

ALPS処理水の海洋放出により、中国での日本産水産物輸入禁止措置を受け、町内水産加工事業者がホタテの加工・流通などに深刻な影響を受けている状況を踏まえ、社員食堂・学校給食へのホタテの提供、ホタテ町内販売支援事業等に対する補助。

漁業振興設備等整備事業補助金 1,320万円

道の地域づくり総合交付金を活用。漁業振興設備等の整備事業。

二海サーモン等調査特別委員会を設置！

『土地収用法』から見えてきたもの!?

マジ?



サーモン種苗生産におけるバックアップ施設として、上八雲の土地・施設等を『土地収用法』を活用して購入すると報告されたことについて、「売買価格5,000万円の根拠は?」「強制収用するの?」などの疑問点が多く出たため、調査特別委員会を設置し議論することとなった。

調査した結果、「土地の価格は100万円程度」「5,000万円の根拠が不明」「水質検査は行われぬのに、検査の結果は良好との報告」など多くの疑義が散見された。更に、土地の所有者、町、企業との会話の内容にもずれがあり、大きな疑問や不審な点があったことから、特別委員会として、町に対し土地収用法の事業認定申請は行わないよう申し入れ、その結果、土地収用法の適用については事業認定申請はしないことと、土地・施設等については購入しない旨の報告を受けた。

<経過>

年月日	会議名	主な内容
R4. 1.13	総務経済常任委員会	トラウトサーモン種苗生産施設等の取得について、上八雲地区ふ化施設等をバックアップ施設として5,000万円で購入予定との報告。
R4. 3.16	第1回定例会	上八雲施設を5,000万円で購入を可決。
R5. 2. 9	総務経済常任委員会	上八雲施設の購入において持ち主より「土地収用法」を活用してほしいとの申し出があり、手続き上から年度中の購入は難しく、令和4年度予算の5,000万円を減額補正する旨の報告。
R5. 3. 8	第1回定例会	5,000万円の減額補正予算を可決。
R5. 8. 9	総務経済常任委員会	土地収用法の申請には、事前に予算確保することが必須条件となっているため、第3回定例会に、令和5年度予算として5,000万円の補正予算を上程する予定であるとの報告。
R5. 9. 6	第3回定例会	5,000万円の補正予算を上程。可決したが議論は継続。
R5.10.18	第6回臨時会	二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会設置
R5.11. 9	二海サーモン等調査特別委員会	土地収用法の事業認定申請はしないこと。また、関係予算の減額補正を行うことについて、特別委員会から町に申し入れた。
R5.11.24	二海サーモン等調査特別委員会	土地収用法の事業認定申請はしないこと。また、土地・施設等については取得をしない旨、町から報告を受けた。
R5.12.12	第4回定例会	5,000万円の減額補正予算を可決。

<今後のサーモン養殖事業についての懸念事項>

- ・法人化の目的がはっきりしていないなど、当初示されたロードマップとの違いが出てきている。
法人設立までは、ずっと町営で行うのか?など大きな不安が・・・。
- ・令和6年の水揚げ以降の海面養殖は、ひやま漁協熊石支所のサーモン養殖部会に移行することになっているが、販売計画や活動計画が示されていない。
- ・海面養殖において、現状の人員では持続可能とはいえず、人材確保が課題となっている。
- ・総合計画に載せずスタートしてしまったため、計画が後出しとなっている。

一般質問

町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

Q

職員の教育が必要では？

A

服務規律の徹底が図られるよう努める

よこたきよし 議員 横田喜世志



管理監督者向けのコンプライアンス研修などを実施し、所属職員に対して服務規律の徹底が図られるような組織づくりに努める。

問 このような処分があつてから引き締めるのではなく、常日頃

問 職員の懲戒処分公表がされたが、管理職として職員の指導・管理も重要だ。今後、不祥事を起こさないためには、職員教育の徹底が必要と思うが、町長の考えを伺う。

町長

全体の奉仕者として法を守り、町民の規範となるべき職員が不祥事を起こしたことにより、

町政の信用を大きく損なわせた。

全職員に対し綱紀粛正と服務規律

の徹底を周知したところであるが、

管理職としての職員の指導・管理

については大変重要であり、今後、

取り組んでいかなければならない職員と意思疎通を図ることで関係を良くし、その中で規律を正し、町民の規範となるような町職員となつてほしいと思うが、町長の考えを伺う。

町長

職員が気軽に相談できる場所は大切だろうと思つている。

早急に検討し進めていきたい。



議会これからの予定

《2月》	8日	総務経済常任委員会
	15日	文教厚生常任委員会
	16日	全員協議会
《3月》	1日	議会運営委員会
	7日～15日	第1回定例会 予算特別委員会 全員協議会 総務経済常任委員会 文教厚生常任委員会 広報広聴常任委員会 議会運営委員会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、

令和6年第1回定例会

3月7日(木) 午前10時から
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

Q 海を守るためにさらに前進を！

A 協議・検討し進めていきたい

あかい 赤井 睦美 議員



年には「海中の魚の量より、プラスチックの量が多くなる」と言われ、今もプラスチックの被害を受けている鳥や海の生き物が見られる。

問 昨年から官民協働で海岸のゴミ拾いを行っているが、町内では海岸漂着物や泥のついたものは回収できず、最終的には他町で処分していると聞いた。現在では漂着したプラスチックや発泡スチロールから重油や灯油を取り出して熱エネルギーへ変換させることや、再生チップにするなど様々な方法がある。

町長就任1期目にゴミの資源化の調査をした頃に比べると技術は大きく進み、すでに取り組みを始めている自治体もある。2050

一次産業から出る産業廃棄物も町内で処理ができることで1次産業の方たちも助かり、処分料なども町内循環ができることから、漁協や農協、または専門家などと連携し、プラスチック対策を早期に取り組み、八雲町の海はもちろん、地球環境の保全を目指すべきではないか。

町長 漂着する「海洋プラスチック」などを「ごみ資源化」する「廃プラスチック燃料化システム」は小型で設置しやすいため、運搬や処分にかかる費用、燃料化したプラスチックごみを使用することによる石油などの燃料費の削減に効果がある。

導入費用、運営費用、設備の耐久性など課題も多いが、技術は進歩しているので、協議・検討し進めていきたい。



Q 関係人口拡大を「チーム八雲」で！

A 色々な人を巻き込んで取り組む

問 総務経済常任委員会において、熊石地域の「旧すまいる」の建物を購入し、関係人口拡大に活用するとの報告があった。今ほど

こも人口減少のため関係人口の拡大は必要であるが、一部の地域だけではなく、八雲町全体を『チーム八雲』として取り組むことが効果的ではないかと考える。
「関係人口拡大協議会」のようなものを町全体で立ち上げ、その中

に「落部チーム」、「八雲チーム（黒岩方面含む）」、「熊石チーム」を設け、常に情報共有を図り、連携して地域に応じた取り組みを展開することで、良い面や改善点が見え、活かし方も変わってくるのではないかと。

更に持続可能な取り組みにするために、専門的な企業からのアドバイスも重要と考える。まちづくりに関する様々な情報を収集しながら、八雲町にふさわしい取り組みを展開すべきではないかと。

町長 地域によって課題や解決方法も様々である。熊石地域の若者が強い思いで取り組もうとしている姿に、行政も一緒に取り組み、事業の成果と課題を整理し共有することで、他の地域にも活用できるノウハウができ、全体に広げ持続可能な取り組みに繋がると考えていた。しかし熊石での取り組みでは、より多くの人と話し合っただけでは、熊石だけに固執せず、色々な人を巻き込んで進めていき、全町に広げていきたい。

Q

男女共同参画の視点からの防災対策は？

A

女性の防災への参画機会を確保したい

くらち きよこ 議員
倉地 清子



問

防災への女性参画について、八雲町における今後の進め方は。

町長

女性視点での防災講演会

の開催や地域防災会議の委員に女性を任用するなど、防災への参画機会を確保したい。

問

具体的に女性の参画はどうか。想定しているのか。

総務課長

消防団員に女性がいることもそうですし、防災会議条例の改正により、女性を防災会議の委員に任用することなども考えていきたい。

問

女性消防団員は一般の方から見ても知識は持っていると思うし、力強い味方になってくれると思っっている。連携して取り組んでほしい。また、防災に関しての女性職員の配置は全国的にも難しいというデータもあるが、八雲町では防災担当の女性職員はいるのか。

総務課長

現在は配置していないが、女性職員の防災担当部署への配置は有効であると考え、今後、検討していきたい。

問

女性がリーダー的存在になるよう、防災講演会など、町民と一緒に勉強する場を設けてはどうか。

総務課長

女性のリーダー育成の第一歩として北海道防災教育アドバイザー制度を活用した講演会を考えていきたい。

問

平常時の備えについての防災会議を開催する予定はあるか。

総務課長

地域防災計画の見直しがあるため、年明けに会議を開催する予定でいる。



Q

熊対策にドローンを

A

有効活用を考えたい

問

熊対策には町民の安心・安全のためにドローンの利活用が有効だと思いが、考えを伺う。

町長

ドローンはこれまで熊による農作物の被害調査や風倒木による森林被害調査などで活用していたが、新たに導入したドローンについては、熱感知機能やズーム機能が搭載されており、熊の侵入経路などを詳細に把握することができるものと考えている。

Q

総合病院の地域への活動は

A

積極的に取り組む

問

八雲総合病院では、介護予防講座の動画配信や院内での座学など、地域住民に向けての取り組みがされてきた。コロナ禍で中止となっていたこれらの取り組みの再開や、新たな取り組みなど、地域への活動は考えているのか。

総合病院事務長

春以降の再開を目標にプロジェクトチームを発足させ準備を進めている。地域の皆さんから信頼され、満足される医療へと繋がるものと考えており、積極的に取り組んでいきたい。



Q 新庁舎についての理解は浅い！再度の説明会を

A 手続きは踏んだ。議会と協議して進めるのがいい

みさわ 三澤 議員
きみお 公雄

問 新庁舎建設については、スケジュールありき！で進んでいくのはとても危険ではないだろうか。

町長は「反対の声はなかった」と答弁したが、声を上げられないのが町民である。日本の民主主義は、声なき声（サイレント・マジョリティ）をいかに聴くか？にかかっている。これまでの「用があるから行く役場」から「皆が集う場所」というコンセプトであるが、デザインについても、町民の理解・納得がなければ足が向いて行かないだろう。



有名設計者さんの作品を残すのが我々の希望ではない。再度の町民との意見交換はできないのか。

町長 手続きは踏んでいる。中には木造だと思っている方々もいるので、これからも行った先々で説明をし、直接の声を聴きたいと思っている。また、公民館利用団体の方々とも意見を伺いながら進めていく。外観については、デザインを変えらるとなると時間と費用が膨大にかかるものだと思う。町民の声を聴いている議会と、協議しながら進めていきたい。



新庁舎の詳細模型が公民館に常設展示されています！

Q 通学路の安全確保はあきらめるのか？

A 町内会の声を聴いて最大限努力する

問 通学路の安全確保については、これまでも「ゆめ議会」を通じて、「未来の有権者たち」が訴えてきたが、未だ報われていない。

歩道の確保や街路灯はもっと充実させるべきだし、ゆめ議会という行事ではなく、恒常的に「未来の有権者」の声が行政に反映されるように、「児童会・生徒会」を通じて、彼ら彼女らの声が届けられる仕組みにできないだろうか。

町長 通学路の安全については、歩行スペースの確保や、防犯カメラの設置など、引き続き町内会とともに取り組んでいく。

教育長 昨年の八雲高校での、

「より良い社会やまちづくりに向け、生徒が話し合つてまとめた提言を町長に示して議論をする。」などの取り組みを、各中学校においても活かしていきたい。

この質問は、「狭い車道で本主に歩行者優先が実現」している本州の例や、町内会によつては「歩道の明るさ」に違いのある例を示して改善を促してきましたが、質問の趣旨は「主権者教育」に置いたものでした。

主権者教育、教科書で学ぶだけではなく、学校内自治活動を通じて構築した意見が、日頃の学校生活の延長線上で「まちづくり」に活かされた、と感じられたなら・・・

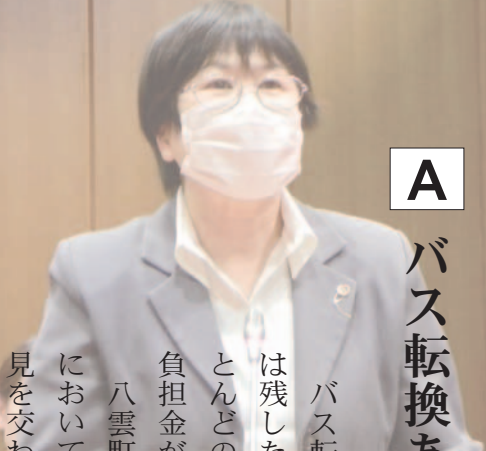
自分たちの声が届く！ということを実感できる仕組みであつたなら・・・それは巡り巡つて、八雲町に戻つて来る人材や、議員の成り手がいないなどの八雲町の人材不足対策はもとより、「地元を愛す」、「国を愛す」ことまで繋がると考えます。

(三澤)

Q JR在来線はどうなる？

A バス転換ありきではない

議員 ともこ 佐藤 智子



バス転換ありきではなく在来線は残した方がいいというのが、ほとんどの首長の考え方であるが、負担金が莫大になる。

八雲町としては、ブロック会議において北海道や沿線自治体と意見を交わし、最良の方向性を導き出していきたいと考えている。

Q 黒岩の奇岩周辺の清掃を

A 海岸漂着物処理事業を実施する

問 黒岩の奇岩周辺は、町内会と若人の集いが協力して清掃しているとのことだが、浮き玉や漁網などが残されている。それらを片付ける手立てが必要ではないか。

町長 令和4年度から、北海道

海岸漂着物等地域促進事業補助金を活用し、区域を分けながら廃

ラスチック類などの海岸ゴミの清掃を行っている。

令和6年度は、黒岩奇岩の区域も含む、シラリカ川から黒岩漁港までの1・75キロメートルの清掃を予定している。

Q 風力発電について

A 意見を述べる段階ではない

問 民間事業者が黒岩山中に15

基の風車を設置する計画を立てている。オジロワシやオオワシの通り道へは、バードストライクの恐れがあるため、風車の設置は避けるべきではないか。

町長 現在、事業者が環境影響

調査を行っているところであり、今は意見を述べる段階ではない。調査結果や住民説明会の状況などを踏まえて、必要に応じ対応していきたい。

Q 介護保険制度の今後は

A 負担を抑える考えはない

問 厚生労働省は、介護保険料

の2割負担を年金収入等の220万円（現在は280万円）以上の単身者を対象に増やそうとしている。2024年の改定に向けて負担を抑える考えはあるか。

町長 町として独自に負担を抑

える考えはないが、国への要請は今後も町村会を通して行っていく。

Q 公園のトイレの改修を

A 必要性を考える

問 国土交通省の「こどもま

なか公園づくり支援事業」を活用して、さらんべ公園や相生公園のトイレを改修してはどうか。

町長 補助事業活用の前に、改

修の必要性を見極め、公園全体の維持・整備の方針を踏まえたうえで考えを整理していきたい。

問 鉄道は地域経済を支え、住民の通学や生活の大切な足である。バス転換を急がず、鉄路を守るために、近隣町と連携して国・道・JRに要請行動を起こすべきではないか。

町長 沿線7市町で構成する「北海道新幹線並行在来線対策協議会渡島ブロック会議」では、JR北海道から経営分離後の地域交通の確保について話し合いを続けており、バス転換や第三セクター方式による鉄路維持について検討している。

【風車の概要】
(事業者の資料より)

一基の出力 4,300キロワット
支柱の高さ 85～115m
全体の高さ (羽を付けた場合) 135～183m
耐用年数 20年

議会カフェを開催！

令和5年10月14日(木育会場)と令和6年1月7日(二十歳の集い会場)に議会カフェを開催し、皆さまの声をいただきました。

80人に聴きました！

【回答の多かった意見】

<八雲の良いところ>

1. 自然豊かで、食べ物おいしい。(海産物・農産物)
2. 町民が優しい、気さく、ウェルカムなところ。
3. ちょうど良い田舎。買い物に困らない。
図書館、プールが充実している。



木育会場（町民センター）

<あったらいいな！と思うもの>

1. 子どもや若者が遊べる場所。
(公園の遊具増設・整備などの意見を含む)
2. ファストフードのチェーン店。
3. 子ども達も楽しめるイベントを増やしてほしい。



二十歳の集い会場（町民センター）

【その他の主な意見】

<八雲の良いところ>

木育会場の皆さま	二十歳の皆さま	保護者の皆さま
<ul style="list-style-type: none">・子ども向けのイベントが多い。・子育て支援が充実している。・町がこじんまりしていて、暮らしやすい。・自然豊かだけど、不便がなく住みやすい。空気がきれい。・喘息があまり出なくなった。	<ul style="list-style-type: none">・景観が良い。特産品が多い。・いつでも帰って来れる故郷。・自然がいっぱい。可能性がある。・育成牧場が好き。・海の幸も新鮮で美味しいものばかり。帰省すると太る。・静かでいい町。	<ul style="list-style-type: none">・のどかなところ。・UFOが出るところ。・町（行政）と町民の距離が近い。・程よく大きく、元気なところ。・ちょうど良い田舎。町民が温かい。活動している人が多い。・特産物がたくさんある。

<あったらいいな！と思うもの>

<ul style="list-style-type: none">・ショッピングモール。・歩道を整備してほしい。・夕方まで診てくれる小児科。・公共バス。・図書館から5号線に抜ける跨線橋にもっと街路灯を。	<ul style="list-style-type: none">・結婚や出産に関する一時金。・学校ではできない体験プログラム。・学費無料。・町内で子育てしやすい環境。・八雲町ならではのブランド品。特に海産物。	<ul style="list-style-type: none">・循環バスor買い物バス。・大きな本屋さん。映画が観れる場所。ゆっくり憩える場所。・水遊びが出来る公園。・若い人も行けるような所。・文化系の学生の発表の場。
--	--	--

定例会・臨時会議件一覧

令和5年第4回定例会（令和5年12月11日～14日）			
議案第1号	八雲町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	議案第19号	令和5年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第2号	八雲町教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	議案第20号	令和5年度八雲町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第3号	八雲町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	議案第21号	令和5年度八雲町病院事業会計補正予算（第1号）
議案第4号	八雲町長及び副町長の給料の特例に関する条例	議案第22号	令和5年度八雲町一般会計補正予算（第8号）
議案第5号	八雲町地域会館等条例の一部を改正する条例	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度八雲町一般会計補正予算（第7号））
議案第7号	八雲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	報告第1号	専決処分の報告について（工事請負契約の一部変更契約締結について）
議案第8号	八雲町空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例	報告第2号	専決処分の報告について（学校給食費の支払に関する訴えの提起について）
議案第9号	八雲町下水道事業の設置等に関する条例	発委第1号	八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第10号	八雲町農業集落排水事業の設置等に関する条例	発議第1号	パレスチナとイスラエルの即時停戦を求める意見書
議案第11号	八雲町給水条例及び八雲町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	発議第2号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書
議案第12号	八雲町簡易水道事業の設置等に関する条例	発議第3号	えん罪被害者を救済する制度改正を求める意見書
議案第13号	八雲町防災会議条例及び八雲町国民保護協議会条例の一部を改正する条例	総務経済常任委員会所管事務継続調査中間報告書	
議案第15号	指定管理者の指定について	文教厚生常任委員会所管事務継続調査中間報告書	
議案第16号	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	
議案第18号	令和5年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		

※議案第6号、議案第14号、議案第17号は、提出者より取り下げ申し出があり、議長により許可しています。



第4回定例会 賛否一覧（反対のあった議案を掲載）

賛成 ○ 反対 ×

議案番号	議 件 名	採決結果	議員名															
			赤井 睦美	佐藤 智子	横田 喜世志	大久保 建一	関口 正博	宮本 雅晴	倉地 清子	三澤 公雄	牧野 仁	安藤 辰行	斎藤 實	能登谷 正人	黒島 竹満	千葉 隆		
発議第2号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
発議第3号	えん罪被害者を救済する制度改正を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

常任委員会 の活動

令和5年11月から令和6年1月の
各常任委員会の活動です。

文教厚生

●小中学校へのエアコン設置について（学校教育課）

令和5年は記録的な猛暑が続きました。夏季期間の児童・生徒の健康を守り、充実した環境の中で教育活動が行えるように小・中学校の全教室と職員室、校長室にエアコンを設置します。
八雲中学校は大規模改修工事により、すでに設置されていますの

で、その他の小学校7校と中学校3校に設置する予定です。

委員会でご要望を出して早速実現！

●木彫り熊100周年記念事業について（社会教育課）

記念講演の開催

日時：令和6年3月26日（火）

13時30分～15時

場所：はぴあ八雲

講師：河村たかし名古屋市長



●保育所等利用者負担金補助事業について（住民生活課）

令和元年10月から、3歳以上の児童の保育料は無償化されていますが、課税世帯の3歳未満児の保育料は徴収することになっていました。また、幼稚園は満3歳の入園

児から無償になりますが、保育園利用の場合は年度途中で満3歳になっても、そのままの保育料を支払うことになっています。（4月1日現在の年齢で算定されるため）

この不公平な現状を是正するために、町独自の子育て施策として、令和6年4月1日より、3歳到達時の保育料及び幼稚園の一時預かり保育料を無償とします。（保育所と同様の要件で一時預かり事業を利用した場合に限る）

対象見込み延べ人数は認可保育所（認定こども園含む）で180人、幼稚園で78人です。（認可外保育所は対象外）



●保育人材確保事業について（住民生活課）

必要となる保育士の人材を確保するため、保育士の住居費用を一部補助します。

令和6年4月1日以降に採用となった常勤保育士が対象で、3万円上限とし、採用から5年間支給します。

●八雲総合病院医師住宅について（総合病院）

現在、相生町にある医師住宅28戸のうち入居しているのは常勤医師16戸と出張医10戸で、空きが2戸となっています。

富士見町の住宅（昭和62年建設）は4戸あり、常勤医3戸と、医師課アドバイザーが入居しています。（アドバイザー退去後は、外国人2名が入居予定）

八雲中学校脇にある令和2年建設の2戸のうち、一つは院長先生が入居していますが、もう一つの副院長住宅が空きになっており、入居の見通しが立っていません。

医師住宅整備を目的として公営企業債及び過疎債を活用していることから有効利用は限定的となり、活用方法が求められています。

総務経済

●落部漁業協同組合事務所整備支援について（水産課）

昭和43年に建設された事務所の建替えに対して支援をする。

支援をする理由

落部地域は漁業を中心に「まちづくり」が行われてきた。その中核となる漁協事務所の整備であり、これからも一層の地域コミュニティ活動（防災、体験教育、農漁業加工品直売など）に注力し、地域住民の集う中核施設となることから、支援をするという考え。

【委員から出た意見】

- ・漁協組合員やその家族だけの施設にならないのか。
- ・海岸に近く、防災拠点となるのか。
- ・川向会館が廃止されると、落部川を渡って避難するのか。
- ・他の民間団体の建替えにも補助をするという「前例」をつくることになるのでは。

●基金の運用について（会計課）

北海道公募公債（利率0・861%）を5億円購入予定。

●森林環境税について（財務課）

令和6年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として一人年額1000円を市町村が賦課徴収し、その税収は全額が森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与される。

また、東日本大震災を踏まえて地方の防災を充実させるために徴収していた道民税500円、町民税500円は、令和5年度で終了する。

個人住民税均等割の総額は変わりません。

●熊石地域での公共用地の先行取得について（地域振興課）

青少年旅行村管理棟の横、町道湯ノ沢線を挟んだ向かいの民有地、約4500㎡をキャンプ場エリアとしてのオートサイトや敷地内の建物をロッジハウス風としての活用を、令和7年度に向けて具現化する計画。

する計画。

●熊石地域デジタルリテラシー向上事業について（地域振興課）

高齢者など、デジタル技術に不慣れた方に活用技術を身に付けてもらうために、身近な場所で講座や研修をする。

文部科学省の「国民のデジタルリテラシー向上事業（補助率10分の10定額補助）」を活用する。

八雲地域では、ドコモなどの民業圧迫になるため、補助はない。

●熊石総合支所の税務業務の本庁集約について（地域振興課）

より効率的な行政運営と持続可能な行政サービスの維持を図るために、令和6年度から税務業務の本庁集約を行う。

窓口における税務証明書等の受付や各種申請についてはこれまでどおりだが、納税相談や税に関する問い合わせは、本庁職員が電話等で対応する。

●物価高騰対応プレミアム商品券発行事業について（商工観光労政課）

名称	プレミアム付き「ひまわり商品券」
実施主体	八雲商工会
発行額	2億6千万円 プレミアム率 30% 額面1,000円×13枚綴り×2万冊
発行日	令和6年5月27日～30日
使用期間	令和6年6月1日～11月30日
取扱店	八雲商工会員で本事業に賛同するもの
発行所	はびあ八雲 落部支所（5月30日のみ） 商工会熊石支所
町補助金	商品券のプレミアム分（30%） 事務経費

●鉛川観光施設関連について（商工観光労政課）

今後の予算関係の予定

今後の予算関係の予定（主なもの）

●浄水・温泉設備改修工事（町発注工事）

工事請負費 委託料	3億3,370万7千円 324万5千円	令和6年度予算 (令和5年度に債務負担行為)
補償補填	2,525万円	令和6年度予算

●老朽化対策事業補助金関連（民間発注工事）

補助金	8,711万2千円	令和5年度予算
補助金	1億3,066万8千円	令和6年度予算 (令和5年度に債務負担行為)

浄水・温泉設備棟の貸付条件

今後の設備棟の稼働・維持管理・改修などの経費に関しては、町は一切負担しない。

貸付期間の満了後に無償譲渡する。老朽化に対する経費に関しては町は負担しない。

老朽化対策事業補助金についての
公共性・公益性

鉛川観光施設は、産業振興と観光資源開発、住民福祉の向上のために町営として整備したという歴史の経緯があり、現在に至っている。

町の観光資源の一つとして、これからも継続してもらいたい貴重な施設であり、「公共性・公益性」の観点から、これまでも必要な経費は負担している。



鉛川レクリエーションセンター

これらのことは他の民間施設と一致するものではなく、明らかに異なることから、比較して議論すべきものとは考えていない。

【委員会での質疑】

Q 町営から民営になった時点から、「町にとって大切な観光資源」ではなくったのではないか。

A 譲渡したあとも、町にとって観光資源施設としての位置づけは変わらない。

町の観光資源に協力してもらおうという、「公共性・公益性」を担保したうえで支援であり、経営者も、これまで以上に「町民還元を」という意識があることを確認している。

Q 新たな客層をどう掴もうとしているのか。

A 経営手法については事業者が考えることで、町が関わるものではないが、委員会で出された意見を伝えていきたい。

浄水・温泉設備の改修や老朽化対策補助金の考え方など、多くの資料を提示してもらい議論を続けてきましたが、未だゴールは見えていない状況です。

議会のうごき

《11月》

- 9日 全員協議会
総務経済常任委員会
二海サーモン等調査特別委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 24日 全員協議会
総務経済常任委員会
二海サーモン等調査特別委員会

《12月》

- 6日 議会運営委員会
- 11~14日 第4回定例会
全員協議会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
広報広聴常任委員会
二海サーモン等調査特別委員会
議会運営委員会

《1月》

- 10日 広報広聴常任委員会
- 11日 総務経済常任委員会
- 18日 文教厚生常任委員会
- 19日 広報広聴常任委員会
- 24日 第1回臨時会
全員協議会
二海サーモン等調査特別委員会
文教厚生常任委員会
- 31日 総務経済常任委員会
全員協議会
議会運営委員会



